

他人事で見ていたことも
“一人称”で体験すると
ちがって見えるはず

VR Angle Shift



2016年より始まった「VR認知症」は、当社が運営するサービス付き高齢者向け住宅「銀木犀」に入居されている認知症がある方との暮らしからヒントを得て生まれました。

認知症を「学ぶ」のではなくVRを活用した一人称「体験」を通じて理解を深めるコンテンツとして誕生し、今では認知症のみならず「他人事でみていたことも“一人称”で体験するとちがって見えるはず」というコンセプトのもと、他者の様々な視点を体験するコンテンツを展開しています。

自分とは異なる立場にいる人の経験をVRで一人称体験することにより、「もし、自分がその立場だったら、一体何を感じ、どのように思うのか」と考えられる想像力を養い、日々の対話のすれちがいに気づき、新しい関係づくりに繋がります。

あなたのAngle“視点”をShift“転換”する



VR認知症



高齢者住まい看取り研修



マネジメントスタンダードプログラム
for kaigo (MSP-k)



VRダイバーシティ&インクルージョン



VR発達障害

お問い合わせ

株式会社シルバーウッド VR事業部 (<http://angleshift.jp>)
VR@silverwood.co.jp



■導入パターンは (1)体験会の開催 (2)VRレンタル があります

※費用はご依頼内容によって異なりますので お問い合わせください。

(1-a) 体験会：VR研修

- 参加人数分のVR機材とファシリテーターを派遣し、集合研修で開催します。
- VR体験だけでなく、体験ごとに参加者同士でグループディスカッションを行うことで理解を深めます。



ファシリテーターを派遣



VR体験 (1人1台)



グループディスカッション

(1-b) 体験会：VR + 講師オンラインのハイブリッド研修

- Web会議システムを活用し、会場とファシリテーターをオンラインで繋ぎ、研修を開催します。
- 参加人数分のVR機材をあらかじめ会場にお送りし、主催者がオンラインで繋いだ講師の指示のもとVR機材の準備をします。

※ 複数の会場に分かれての開催もご相談可能です。
※ インターネット環境や会場の音響確認などのため、事前に接続確認をお願いしております。



(1-c) 体験会：完全オンライン研修 (VRなし)

- Web会議システムを活用し、参加者とファシリテーターをオンラインで繋ぎ、研修を開催します。参加者は各自の拠点から参加可能です。

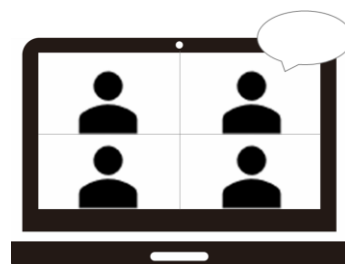
※ 使用するWeb会議システムは、ご要望に合わせてご相談させていただきます。
※ 体験は、パソコンなどのデバイスで一人称視点の動画を視聴します。



Web会議システムを活用



パソコンなどのデバイスで視聴



オンライン上でグループに分かれディスカッション

(2) VRレンタル

※プログラムによってはレンタル非対応です。

- 1台からレンタル可能
- レンタル期間は機材到着から4泊5日。有料で延長可能。
- 当日運営を担当される方には、VR機材の扱い方や、体験に伴う進行の仕方等の事前レクチャーを受けていただきます。

※使用目的によってはご案内を控えさせていただく場合もございます。
※VRの特性上、屋内での利用に限定しています。

